



チュニジア・カルタゴ大学 国立建築都市計画学校との 学術交流に関する意見交換会を開催

【概要】

2023年8月17日(木)に、チュニジア・カルタゴ大学 国立建築都市計画学校(ENAU: National School of Architecture and Urbanism)のファーヘル・ハラート学校長(Dr. Fakher KHARRAT)が理工学部を訪問され、両者によるこれまでの交流の成果と今後の学術交流について意見交換を行いました。

【本文】

2023年8月17日(木)に、チュニジア・カルタゴ大学 国立建築都市計画学校 (ENAU: National School of Architecture and Urbanism)のファーヘル・ハラート学校長 (Dr. Fakher KHARRAT) が、理工学部を訪問され、学術交流について意見交換を行いました。

これまで、理工学部都市工学部門のデルベル ラミ 助教(カルタゴ大学 国立建築都市計画学校出身、佐賀大学で博士号を取得)と、同氏の指導教員であった三島 伸雄 教授らにより、2023年2月27日~28日にオンラインでJIT (JAPAN, ITALY AND TUNISIA) シンポジウムを開催しました。また、チュニジアのチュニスにおいて、建築遺産の保全をテーマとした日本、イタリア、チュニジアの研究者による対面でのJITシンポジウム(2023年7月8日~9日)と同テーマの国際学生ワークショップ(2023年7月10日~17日)が開催され、本学から理工学部都市工学部門の三島教授、後藤 隆太郎教授、デルベル助教、および建築環境デザインコースの大学院生9名が参加しました。さらに、2023年8月15日(火)~8月20日(日)の日程で2023年度国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンス)(実施大学:九州大学・佐賀大学)として、カルタゴ大学国立建築都市計画学校の学生とファーヘル・ハラート学校長が来日されました。このような学術交流の成果の一環として、今回の意見交換会が設定されました。

意見交換会には、カルタゴ大学国立建築都市計画学校からファーヘル・ハラート学校長が参加され、理工学部から佐藤 和也 副学部長(研究担当)、カーン 学部長補佐(国際交流担当)、後藤 教授(建築環境デザインコース主任)、デルベル 助教(通訳担当)に加えて、理工学部事務室(松永事務長、中尾係長、船石事務員)と理工学部研究員のフォンテーン博士(記録の担当)が出席しました。

カーン 学部長補佐の進行により両大学参加者による自己紹介があり、その後、まず佐藤 副学部長より歓迎の挨拶ならびに大学・理工学部紹介、交換留学等の制度について説明がありました。

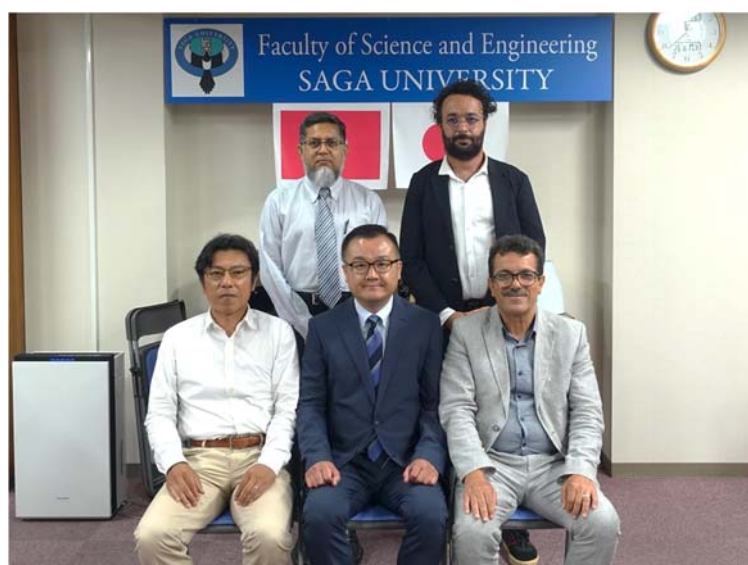
続いて、カルタゴ大学国立建築都市計画学校、ファーヘル・ハラート学校長より、カルタゴ大学やそこに属す国立建築都市計画学校 (ENAU)の概要や特徴等の説明、その後、後藤 教

授よりこれまでの両大学の交流実績や今後の学生交流等の可能性の説明があり、あわせて今後の学术交流に関する意見交換を行うことができました。

最後に佐藤 副学部長より閉会の辞が述べられ、双方からの記念品贈呈と記念撮影が行われました。



ファーヘル・ハラト学校長より記念品を受け取る佐藤副学部長



記念撮影（集合写真）



さくらサイエンスに参加する国立建築都市計画大学の学生（理工学部内での講義風景）